

要望しています

～笠岡市の未来のために～

平成29年度
当初予算
要望事項



ただ要望するだけ
でなく進捗状況も
確認しています

3月定例会では、笠岡市の平成29年度一般会計等の予算の審査を行いました。一般会計の予算審査で一部反対がありましたが、5つの要望を付けて可決することとなりました。要望を市がどう取扱っているのかは、進捗状況として定例会ごとに市から報告をしてもらいチェックしています。



ふるさと納税のさらなる充実を

本事業は昨年12月の一般会計補正予算の議決にあたり、事業計画を事前に報告・説明するよう附帯決議を附して議決した。

29年度の推進計画に沿って、記念品の充実、PRの推進等さらなる充実を図り、目標達成に向けて一層の努力をされたい。



給付型奨学金制度の創設を

子どもの貧困率が16.3%（全国）を記録する中で、特に福祉の観点からも低所得者を対象とした給付型奨学金制度の創設を検討していただきたい。



生活保護受給者の自立支援を

有効求人倍率が高まる中でも、生活保護の受給者が減らない現状に対し、受給者を世帯別だけでなく年齢別に調査するなど、今までと違った観点から把握したり、役所内の横の連携を図りながら、自立支援の方策を検討していただきたい。



高齢者タクシーチケットの周知を

平成29年7月以降に運用開始する本事業で、対象となる方が漏れなく申請し利用できるよう、周知徹底に努められたい。



評価シートで効果の見極めを

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に伴い補助金を充てる事業を行うが、産業連関表を活用し事業に対する評価シートなどで検証できる運用をし、効果が出るよう努められたい。



要望結果

2件の完了報告を了承しました

これまでに行った要望について、33件の進展状況の報告を受け、「自主防災活動活性化総合支援事業」と「重症心身障害児者レスパイトサービス」の2件の完了報告を了承しました。